

## 《 A・トラップ取扱説明書 》

この度は、弊社製品「A・トラップ」をご採用頂きましてありがとうございます。  
本書「A・トラップ取扱説明書」をよくお読み頂き、「A・トラップ」を正しくご使用  
頂きます様お願い申し上げます。

### 1. 製品の概要

「A・トラップ」はトラップ機能を箱型に納めた床置型の空調機用ドレントラップ  
です。2つのチャッキ弁をもつ合理的な設計で、封水切れ時にも防臭・防虫効果  
を發揮します。

また、30年以上の実績が物語るように、耐久性に優れ、保守・点検・清掃が  
容易な上、美観にも優れています。

### 2. 種類と選定

● A・トラップには、大きく分けて〈吸込型（S型）〉と〈押込型（P型）〉  
の2つのタイプがあり、設置する空調機のタイプ（ドレン口静圧 負圧／正圧）に  
応じて選定します。

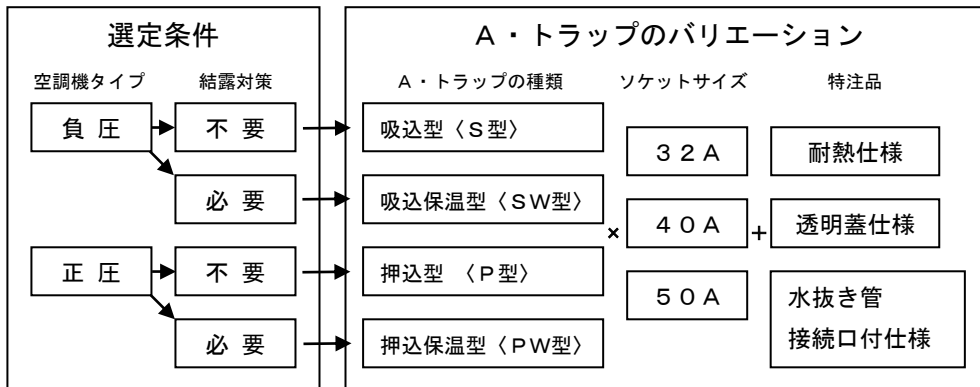
● 特に結露対策を必要とする場合は、A・トラップ本体に保温材を施した  
〈保温型（W型）〉を選定してください。

※ 保温型の結露防止性能は内部滞留水温が10℃の時、雰囲気温度／湿度が  
30℃／70%までです。

これ以上の条件となる場合は別途結露防止対策が必要となります。

● 接続口径は、3種類をご用意しています。

● 特注品として、3仕様をご用意しています。



### 3. 注意事項

#### ① 取り扱いに関する注意事項

- ・ 空調機用ドレントラップ以外の用途で使用しないでください。
- ・ 強い衝撃を与えると破損する恐れがあります。丁寧に取り扱いください。
- ・ 火の近くなどの特に高温になる場所での保管・使用はしないでください。

#### ② 取り付けに関する注意事項

- ・ 流入・流出の向きに注意して水平な床面に設置し、取り付けてください。
- ・ 配管を接続する場合は、配管材料メーカーの注意事項を守ってください。
- ・ 配管を強くねじ込み過ぎると内部部品が歪んだり、破損したりする恐れがあります。  
→ 配管接続時は本体蓋を開け、内部部品が動かないよう目視しながら  
ねじ込んでください。
- ・ A・トラップの二次側配管にはUトラップ等を設けないでください。  
(二重トラップの禁止)
- ・ 排水立て管には伸頂通気を設けてください。
- ・ ドレンパン排出レベルとA・トラップ設置床面のレベル差はドレン口静圧に  
対応した落差が必要です。  
→ 詳しくは本書裏面をご参照ください。
- ・ 配管終了後、通水テストを行い水漏れが無い事を確認してください。
- ・ 必要に応じて結露防止対策を施してください。
- ・ 保守・点検・清掃作業が行える様に取り付けてください。

#### ③ 使用に関する注意事項

- ・ 通常使用時はフタを閉めておいてください。
- ・ 本体蓋固定用の蝶ボルトは強く締め過ぎないでください。
- ・ 汚れの程度により定期的に点検口フタを開け、流入側フロートボール及び  
流出側フロート弁と内部部品の当たり面の清掃、本体底部に溜まったゴミの  
除去を行ってください。  
また、配管の接続部や内部部品がしっかりと維持されているか点検してください。
- ・ 急激な温度変化や瞬間的な異常高温等の影響、経年劣化によって特殊フロートボール内に  
水が侵入したり破損したりする場合があります。これらの異常が認められた場合は特殊フ  
ロートボールを新しい物と交換してください。
- ・ 清掃時にアセトン・シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。
- ・ 高温水を排出する機器に接続されている場合は、やけどに注意してください。
- ・ 本製品の耐熱温度は60℃です。(耐熱仕様は80℃)

※ 本製品は気体及び液体の逆流を完全に防止することはできません。

#### 4. 必要落差について

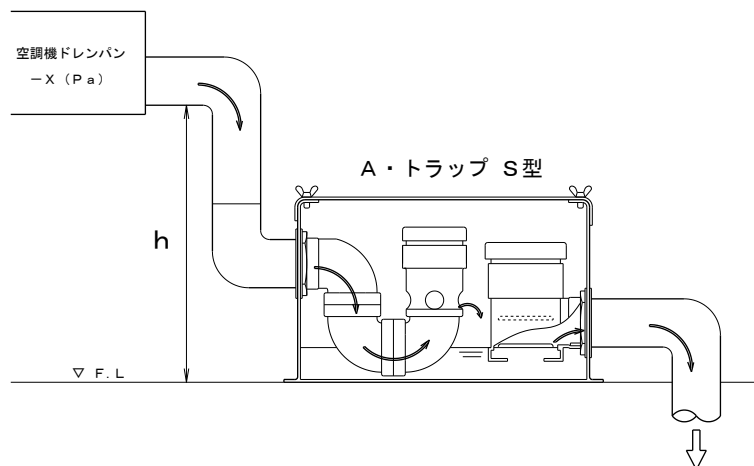
A・トラップは型式により設置時に必要な落差が異なります。

##### ● 吸込型〈S型/SW型〉

A・トラップS型は運転時に機内が負圧となる空調機に使用します。

設置時には、空調機運転時に発生するドレン口静圧(負圧)に応じた落差が必要です。

この落差が不十分な場合ドレンがスムーズに排出されませんのでご注意ください。



○ S型の h寸法 (必要落差) の求め方

$$h = X [\text{Pa}] \div 9.8 + 75$$

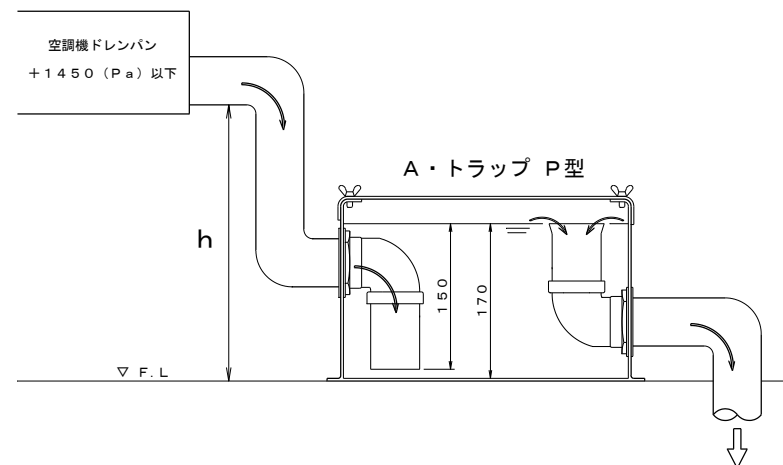
○ SW型の h寸法 (必要落差) の求め方

$$h = X [\text{Pa}] \div 9.8 + 85$$

※ 上記の計算で求めた h 以上の落差であればOK です。

##### ● 押込型〈P型/PW型〉

A・トラップP型はドレン口静圧が  $\pm 0 \sim +1450 \text{ Pa}$  までの押込み型空調機に使用可能です。



○ P型の h寸法 (必要落差)

$$h = 180 \text{ mm 以上}$$

○ PW型の h寸法 (必要落差)

$$h = 190 \text{ mm 以上}$$

※ 空調機の運転開始時には、必ずA・トラップ本体がいっぱいになるまで注水をしてください。

排水の発生しない時期には定期的に水を補充する必要があります。

  
**コンドールFRP工業株式会社**

〒531-0073 大阪市北区本庄西 3-9-15

TEL06-6376-0810 FAX06-6376-0819